

RAINBOW

No. 108

松江市教育委員会学校教育課 松江市学校図書館支援センター TEL:55-5073 FAX:55-5251
https://www.city.matsue.lg.jp/soshikikarasagasu/kyoikuiinkai_gakkokyoikuka/kyoikuiinkai/3/index.html

春

は本に出合うチャンスがたくさんあります！

国際子ども図書館「子どもと本に関する記念日」より

絵本週間	3月27日～ 4月9日	アンデルセンの誕生日で「国際子どもの本の日」である、4月2日の前後2週間で、よりすぐれた絵本文化の発展と、教育の場や家庭にいつそう「絵本読書」が定着することを願って設けられました。(全国学校図書館協議会)
国際子どもの本の日	4月2日	世界中が子どもの本を通して国際理解を深めるために、アンデルセンの誕生日である4月2日を「国際子どもの本の日」と定め、子どもの本に対する一般の関心を呼び起こすことを目標としています。(国際児童図書評議会)
子ども読書の日	4月23日	国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」により、制定されました。(文部科学省)
こどもの読書週間	4月23日～ 5月12日	「こどもたちにもっと本を、こどもたちにもっと本を読む場所を」という願いから制定されました。(読書推進運動協議会)
図書館記念日	4月30日	今日の図書館発展の基盤となった図書館法公布の日を記念して制定されました。(日本図書館協会)
図書館振興の月	5月1日～ 5月31日	「図書館記念日」の翌日からの1か月間、図書館員が連帯しながら社会との結びつきを強めアイデアを出し合い、図書館振興のプログラムを進めようとするものです。(日本図書館協会)
学校図書館の日	6月11日	学校図書館法の一部を改正する法律の制定によって、12学級以上の全ての学校に司書教諭の配置が義務化され、11学級以下の学校にははできるだけ配置することになったことを記念して制定されました。(全国学校図書館協議会)

おすすめの本の参考に



様々な機会を見つけて、子どもたちの読書を応援していきたいですね。

松江市立図書館
「すべての子どもに本の楽しさを」



島根県立図書館
「こどものページ」



文部科学省
「子供の読書キャンペーン」



学校図書館活用教育に係るブロック別研修を行いました

小中一貫教育の視点から学校図書館活用教育を行うために、中学校区（5～8校）を1ブロックとし、ブロックごとに2種類（①、②）の研修をしています。

研修①は会場校の図書館見学や図書館運営についての情報交換、学習支援や読書支援の課題解決についての話し合いを、研修②は学校図書館を活用した授業研究を行っています。

今号では、11月に行った、4ブロックの研修②の様子をお伝えします。

A 1ブロック

千鳥の杜学園・しまね潮風学園

（会場校：生馬小学校）

- ・教科・学年 国語科・第1学年
- ・単元 まとめてよぶことば
- ・本時に関わる情報リテラシー
 - B：課題の設定 C：情報の収集
 - E：本で調べる I：ワークシートに書く



ことば探しをする時に使う図書について授業者と学校司書が説明をしています。

B 2ブロック

本庄水辺の学園・海と朝日の美保関学園・八束学園

（会場校：八束学園）

- ・教科・学年 国語科・第6学年
- ・単元 町の幸福論 - コミュニティデザインを考える -
- ・本時に関わる情報リテラシー
 - J：情報の整理・分析



町づくりの取組について集めた情報から、発表に必要な情報を整理しています。

C 2ブロック

宍道みずうみ学園・玉湯学園

（会場校：玉湯学園）

- ・教科・学年 国語科・第1学年
- ・単元 すきなおはなしはなにか
- ・本時に関わる情報リテラシー
 - K：まとめ（紹介カードをつくる）
 - L：伝え合う



自分が好きなお話についての紹介カードを書き、友だちと紹介し合っています。

D 1ブロック

津田古志原きぼう学園・やくも意宇学園

（会場校：八雲小学校）

- ・教科・学年 国語科・第2学年
- ・単元 ひみつをしらべて どうぶつのひみつをさがろう
- ・本時に関わる情報リテラシー
 - C：情報の収集、I：情報の取り出し



図鑑の使い方を学習した後、図鑑や本からどうぶつのひみつを見つけています。

学校司書の活動や気づき 令和6年1月、2月の学校司書業務報告書より

(各校の活動について、学校間で情報交換ができるように学校番号(運営説明資料名簿より)を文末に表記しています。)

●読書支援に関すること

・毎年、6年生に向けて校区内の中学校の本の紹介や展示を行っている。昨年度までは6年生が図書館を利用する時間だけ展示をしていたが、今年度は他の学年が図書館を利用する時間も展示を行ったところ、多くの児童が中学校の本に興味を示していた。中学校の本を読むために休み時間に図書館に来館する児童もあり、定期的に図書館に足を運ぶよいきっかけとなった。(14)



・学校近くの保育園でストーリーテリングを行った。大半の子どもたちが自分の勤務校に入学することもあり、入学後の図書館教育につながればと期待している。ストーリーテリングを聞いていた子どもたちの様子から、お話を楽しんでくれていることがよく伝わった。様々なメディアがあふれる時代になっても、子どもたちの中にお話を楽しめる部分があることに安堵したと同時に、1年生のうちから本と子どもをつなげることの重要性を認識した。(48)

・読書を進めるために、「おすすめの本達成賞」と「本とともにだち賞」を設けている。「おすすめの本達成賞」は各学年のおすすめの本を目標冊数読むこと、「本とともにだち賞」は自分が読みたい本を目標冊数読むことや読書記録に書くこととしている。担任の声掛けもあり、子どもたちは意欲的に取り組んでいる。達成者には賞状と図書館ボランティア作成の葉を渡している。(49)

●学習支援に関すること



・学習公開日に併せて、図書館を活用した学習の成果物の展示を行った。成果物を見た子どもたちからは「すごいね」「おもしろいね」などの感想があり、他の学年がどのような学習をしているかを知らせることができる機会となった。また、成果物と一緒に関連する本を置いていたが、借りたいという子が何人もいて本の紹介にもつながった。保護者の方にも展示を見てもらったり、図書館を見てもらったりすることができて良かった。(20)

・中学1年生の総合的な学習の時間に「職業調べ」を行った。事前に調べたい職業が決めてあったので、それをもとに資料準備を行った。全員に必要な資料を提供することができたので、スムーズに調べる学習をすすめることができたと思う。(45)

●図書館の利用や環境整備について

・図書委員会の3学期のイベントとして、読書ビンゴを実施している。マスに書いてある分類や作者の本を一生懸命探したり、友だち同士で教え合ったりするなど、図書館の配架について学ぶよい機会になっている。また、子どもたちの様子から、書架の配置や表示の仕方など改善が必要な点も明らかになり、今後の参考になった。(2)

●資料の管理について

・調べ学習で活用する図書の点検を行った。低学年向けの昆虫の飼い方に関する本や動物図鑑の情報が古かったり、劣化が気になったりするものが多いことがわかった。研修会の情報交換で、新しい本に買い替えることで子どもたちがよく手に取って見るようになったという事例を聞いたので、今後、既存の図書について精査し更新することも検討していきたい。(18)